

阪神淡路大震災から16年経ちました。災害への備えはできていますか？

3月11日に発生した東日本大震災は想像を絶する未曾有の大地震でした。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今から16年前になりますが、平成7年1月17日午前5時46分に観測史上初、震度7強の阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)が occurred。震源地は淡路島北部で、淡路島や神戸方面は瞬時に壊滅状態に陥り、尼崎市でも、49名の尊い命が失われました。

● 当時の市内避難所のようす

避難者が市内で最も多かった学校は武庫北小学校で、17日午後6時時点で体育館に500人、校庭には車両100台、車中に100人近い避難者がいたそうです。

避難所に提供された食事は、休校の学校給食用のパン・牛乳で、不足分は防災センターの備蓄乾パンを配付しました。断水になった学校などでは、トイレで使う水はプールや近くの川から運ぶといった状況でトイレが詰まることも多く、教職員が素手でつかみ出すこともありました。市内高校生ボランティアや全国からボランティアがかけつけ、トイレ掃除や避難者の話し相手、炊き出しがあり、避難者同士の助け合いなど、人間の温かさを感じる場面もたくさんありました。

● 当時の学校や幼稚園の状況

1月17・18日は市内の全学校・園が休校になりました。19日から一部の学校・園を除いて再開し、20日からは簡易給食も開始されました。特に被害が大きかったのは、城内・立花西・水堂・武庫南・武庫北・小園小学校、立花中学校・市立尼崎高等学校の8校でした。ある小学校では1月30日に別の学校で授業が再開されるまで、寒空の中、青いビニールシートを広げ、黒板も机も椅子もない「青空教室」での授業を行いました。2月2日から全ての学校・園が再開しましたが、その後も他校で授業を行ったり、卒業式や入学式を別の場所で実施した学校もありました。

今後、東海・東南海・南海連動型地震など想定以上の大きな地震や津波が来ることも考えられます。皆様のご家庭での安全対策はどうでしょうか？ 一度、ご家庭でも災害についての話し合いをもち、災害に備える十分な準備をしておく必要があるのではないのでしょうか。

じしんで家がつぶれた
一月一七日朝六時前じしんがおきた
しんど六だった
多くのアパートはつぶれかけた
横のアパートがもえた
火花がとびちって
お兄ちゃんの手にあたって
「あつ」といった
お母さんにも火花があたった
お母さんもお兄ちゃんも
強いと思う
じしんのせい
大島小学校の体育館にすんでいる
お兄ちゃん
じしんでみんなこまっているのに
おとなのおつちゃんとおげんかをした
ぼくは口げんかなんかかしてる場合かと思つた

震災当時 大島小学校三年 TNさん
(平成八年一月号 教育あまがさき第二七号に掲載)

おだ りきや
織田 力矢君

Good job!!

まんだい いくや
萬代 育矢君

高校生漫才コンビ
「あろ〜ず」

尼崎産業高校3年生



12月27日
小田公民館
PM1:00~

高校生ライブ
「High じゃん」

- ★ ワッパ上方などを中心に月5回以上舞台上立つ
- ★ 全日本お笑いインターハイ ベストパフォーマンス賞!
- ★ 吉本興業イオンハイスクールマンザイ 近畿代表として決勝進出!

「あまがさきっていいな」
2011-No.40

発行日：平成23年11月15日
編集発行：尼崎市子ども情報センター協議会
編集長：有本 裕和
事務局：北澤 和代

お問合せ先：尼崎市東七松町1-23-1
尼崎市教育委員会 社会教育担当
tel. 06-6489-6746

ご意見・ご要望は amagasaki.iina@gmail.com